

2019年9月25日

災害の軽減に貢献するための観測研究経費による学術支援職員の雇用について

地震・火山噴火予知研究協議会  
企画部長 吉田真吾  
戦略室長 西村太志

## ● 経緯

戦略室構成員選考委員会は、昨年度まで戦略室員を10名選出していたが、もっと少人数の方が議論が深まると思われるため今年度は6名の戦略室員を選出した。その際、戦略室を含む企画部では、研究者でなくてもできる業務に多くの時間と労力を費やしているようなので、URA的な職員を雇用して改善すべき、という意見が出された。

その提言を受け、企画部推進室、および戦略室等において、URA的な職員に期待される業務内容、ポスト等を検討し、学術支援職員を雇用するのが適切という結論に至った。また、学術支援職員の雇用により企画部(特に流動的教員)が新たに行えるようになる業務、強化すべき業務等も議論された。

令和元年度第2回予算委員会(2019.9.12開催)において、災害の軽減に貢献するための観測研究経費で学術支援職員を雇用することについて賛成が得られた。予算案の詳細についてはメールで審議を行うことになった。

## ● 学術支援職員とは

「東京大学特定短時間勤務有期雇用教職員の就業に関する規程」に定められている有期雇用教職員のひとつであり、プロジェクト等において必要な業務に従事する技術者等と定義されている。

## ● 学術支援職員の業務内容

### 1. 企画部業務

#### ・協議会の運営支援

協議会委員・計画推進部会ほか委員の名簿の情報更新、協議会の準備(連絡調整、資料作成)

#### ・成果報告シンポジウムの運営支援

#### ・公募研究関連業務支援

#### ・成果管理システムの管理

#### ・協議会ウェブのメンテナンス

#### ・メーリングリストの管理

#### ・印刷物の管理

- ・文科省の観測点調査対応
- ・(計画の最終年度) 次期計画立ち上げ業務支援

## 2. 戦略室の活動サポート

- ・成果の概要作成支援
- ・戦略室会議の運営支援

## ● 学術支援職員を雇用することにより、企画部(特に流動的教員)において強化できる業務

### 1. 戦略室の活動サポート

- ・適時適切なシンポジウムの企画立案

### 2. 他機関・プロジェクトとの連携強化

- ・地震本部関連会議および次世代火山プロジェクトの集会へのオブザーバー参加と戦略室への報告

### 3. データベースの管理

- ・研究成果共有データベースの管理への参画

### 4. 広報

- ・SNS を活用した、協議会内外への広報活動の実施

## ● 予算修正案

- ・別紙のとおり